

府民の森ほしだ園地探鳥会 (毎月第4土曜日両園地通算第 280 回)

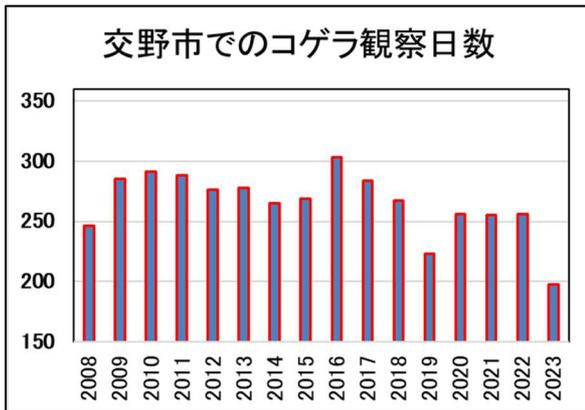
令和6(2024)年7月27日(土)9:30～14:30頃 日本野鳥の会大阪支部
友田武・神戸徹・近藤輝男・沖光二・平軍二 (090-6901-1425)

7/27ほしだ園地探鳥会の日、枚方市最高気温が35℃の猛暑日が予想されます。探鳥会は園地事務所のあるピトンの小屋までに短縮して開催します。熱中症対策を充分にしてご参加くださるようお願いいたします。

I 交野の鳥シリーズ(128)コゲラ

今月の鳥は、河村壽氏が7/17に交野バードに公開された、ほしだ園地で確認のコゲラの写真を利用させていただいた。鳥を知っている人はコゲラが平野部にもいることを知っているが、鳥のことをあまり知らない人は、キツツキは森の奥深くにいて、都市近郊の樹林にキツツキのコゲラがいるといっても、「キツツキが本当にいるの」と不思議に思われる場合が多い。

コゲラは住宅地内に残る樹林や、公園の木々が大きくなり枯れ木・枯れ枝が増えたこともあって、山地でなくても巣作り・子育てができる場所があり、繁殖地が広がっている。



← I-①交野市のコゲラ

交野市の鳥について、交野野鳥の会会員の方の観察情報を、友田武氏が集約されているが、2008年～2023年の16年間のデータでは、年間200日～300日観察されている。実際は留鳥として一年中、交野市内の平野部から山地に生息しているが、観察者の目に触れることのない日があることで、観察日数が60～80%に止まっている。

I-②大阪府鳥類目録2016 コゲラ (日本野鳥の会大阪支部)

大阪府で繁殖期のコゲラ状況は右図の通り、ほぼ全域で繁殖していることがわかる。コゲラは主に低山帯の鳥とされていたが1980年代から次第に市街地に進出し始め、1993年に大阪城公園で初めて繁殖が確認されたとのことである。

I-③全国鳥類繁殖分布調査報告2016-2021年鳥類繁殖分布調査会

各年代の分布状況の変化

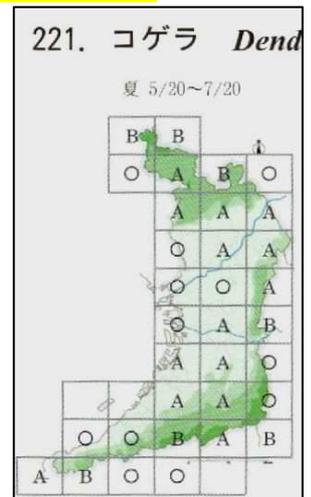
メッシュ数	A	B	C
1974-1978	116	338	298
1997-2002	83	474	378
2016-2021	91	514	422

調査地数

1997-2002	1158
2016-2021	1224

←全国的にも過去3回の調査を通じ、記録メッシュは増加傾向にある。特に1990年代以降は都市の緑地などでコゲラが繁殖するようになり、分布の拡大が顕著である。

唐沢孝一氏「都市鳥ウォッチング」講談社1992年によると、1980年代に入って東京都心の公園に定住しているのが観察され、馬事公苑(世田谷区)・石神井公園(練馬区)などで繁殖が確認され、更に東京都内だけでなく、首都圏、大阪などにも広がったとのことである。



平が担当している万博公園探鳥会では、探鳥会を始めた初年度1985年は2回のみ、87年からは年7～8回となり、89年以降は95%を超え、一年中生息している留鳥となった。

II 先々月 4/27 くらんど園地、先月ほしだ園地探鳥会結果

5/25 ほしだ園地 私市駅に営巣中のツバメを見てスタート。私市集落では餌を啜えたセグロセキレイやイソヒヨドリが民家の屋根にいた。天野川沿いハイキング道で、カワセミの飛翔、林の中からウグイスの「法華経」とセンダイムシクイの「焼酎一杯ぐいー」を聞いた。今日の資料に入れたハヤブサは、ほしだ園地事務所の「ピトンの小屋」前の岸壁にも、見張り場所としている送電線の鉄塔にもおらず、観察できなかった。園地内の林ではキビタキの歌声を何回も聞くことができたが、姿は数人の方が見たのみで終わった。往復 5 時間の探鳥コースで鳥はあまり出なかったが、交野吊り橋「星のブランコ」では 360 度の新緑を楽しみ、爽やかな風を受けるなど、緑陰を楽しむことができた。



ツバメ(渡邊信義氏) 20240525

ソヒヨドリが民家の屋根にいた。天野川沿いハイキング道で、カワセミの飛翔、林の中からウグイスの「法華経」とセンダイムシクイの「焼酎一杯ぐいー」を聞いた。今日の資料に入れたハヤブサは、ほしだ園地事務所の「ピトンの小屋」前の岸壁にも、見張り場所としている送電線の鉄塔にもおらず、観察できなかった。園地内の林ではキビタキの歌声を何回も聞くことができたが、姿は数人の方が見たのみで終わった。往復 5 時間の探鳥コースで鳥はあまり出なかったが、交野吊り橋「星のブランコ」では 360 度の新緑を楽しみ、爽やかな風を受けるなど、緑陰を楽しむことができた。

6/22 くらんど園地 季節のせいかなかなか鳥は出なかったが、上り始める前にホトギスが鳴いてくれた。くらんど園地への上り尺治川沿いでは、あちこちでキビタキ・オオルリが鳴いてくれたが、姿は見えなかった。園地に入って貯水ダムの所では、例年のようにホトギスが飛ぶのが見えラッキーでした。園地出口の手前で、ほとんどの方がキビタキの姿を見られ、最後にハイタカが飛びしめてくれた。ウグイスの声は多かったものの常連のシジュウカラ・エナガも見えないまま、しかし夏鳥のキビタキ・オオルリ・センダイムシクイ・ホトギスが出て、少人数で和気あいあいの探鳥会となりました。



雄 オオルリ(河村壽氏) 20240719



雌

IV 次回探鳥会 2024/9/28 ほしだ園地 9:30 私市駅前

8/24 くらんど園地探鳥会は夏休みです。

次回は 9 月のほしだ園地ですが、30°C以上の真夏日が予想されるときは、今日と同様ピトンの小屋までの短縮コースとします。

大阪支部HPのホームズからお申し込みをお願いします。

